R4年7月20日（水）

第９号

神原中学校 学校だより

剛健進取

文責
神原中学校
校長
大城美千代
TEL917-3407
FAX917-3427

教育目標：◎目標を持ち自ら学ぶ意欲と創造性に満ちた生徒
◎心豊かで思いやりがある生徒
◎明るく健康でたくましい生徒
◎視野を広げ協働する生徒
◎地域を理解し地域に貢献できる生徒

水泳学習安全祈願

進路講演会

CAP講演会

平和学習

PTCA 作業

【生徒の皆さんへ】

今日で第一学期前半の終了です。コロナ禍の中でも、学習面や生活面、さらには学校生活全般を通して、自分自身を成長させることができましたか？

七月に入って、沖縄県のコロナ感染急拡大に比例するように、本校でも生徒だけでなく先生方にもコロナの感染者が複数名出ました。学校閉鎖を回避するこしかし、何とか、学級・学年閉鎖・学校閉鎖を回避することができました。

「Ｗｉｔｈコロナ」の時代に、決「学び方」が身についた人は大丈夫です。しかし、「学び方」を身につけるこしてしながら、知恵を出し、汗をかきながら、今日の日を迎えることができました。その根底には、生徒の皆様の理解と協力があったからこそです。

『雨降って地固まる。』と言います。心も晴れやかな晴天が広がります。生徒の皆さんは、草木が根から水や養分を吸収して育つように、年長者（親や先生や地域の方々）の言うことを素直に聞き、心の養分をよく吸収すれば、大きく成長します。

一方、一学期前半は、生徒総会、年七回の避難訓練（合同帰りの会）を三回、プール水泳学習、様々な講演会、地区中体連、県陸上大会等の行事がありました。それらの行事に進んで参加し、学校や学級の連帯感を高め、まとまりのある学級、学校を育てることができました。

これから、三十六日の長い夏休みを迎えます。目標が定まり、親や先生に言われなければ学習できない人は（やらされている学習をしている人は）、一学期後半を迎えたときに、頑張った人との差が計り知れないほどついていることでしょう。

夏休みは、時間割のない生活です。計画的に自分の時間をどう使うのかをしっかりと考え、行動し、二学期の準備を万全にしましょう。

保護者の皆様へ

校庭の樹木は、あふれんばかりの緑葉を付けています。その姿かたちは、個性豊かで同じように感じさせる木は一つも見いつぶかりません。そして、じっくりと観察してみると、四月から数の増え方がもすごんりの成長したものです。枝の広がりや葉っぱの数の増え方がもすごんりのです。大地にしっかりと根を張って、自分の力で、自分らしく生きようとしているのでしょう。大地や空気、そして太陽と相談しながら。

四月は、生徒にとって、心身共に急激な変化が要求される季節です。学年が毎年一つ進級すると、学校の中での役割もハードルが高くなっていきます。個人の意思とは別に進級させられるのですが、社会の仕組みであり、制度だから仕方がないとは思いつつ、ぎこちない新学期がスタートします。それ以来、はや四ヶ月が過ぎようとしています。その間、何の違和感も感じさせないほど、各学年の存在感を示しています。中学校一年生は、複数の小学校から新しく出逢った仲間や集団への意識が大きく変化しています。中学二年生は中堅学年として、後輩の見本となるように、学級活動、生徒会活動、部活動でも存在感を発揮しています。きっと、修学旅行も成功裏に終えることと期待しています。

中学三年生は最高学年としての自覚と風格が漂うようになってきています。そのことは、処々の学校・学年行事を通しての言動や行動でよく理解できます。校庭の樹木に劣ることなく、生徒も一歩一歩成長しているのです。

しかし、樹木は独り立ちしていますが、生徒はそうではありません。学校社会の時間割という枠組みの中で生活し、個人の判断より、与えられた生活が主体となります。つまり、生徒は皆同じ事を同じように頑張っているのみです。自ら考え、計画し行動する時間的なゆとりが与えられないからです。だから、樹木のようにうまくはいかないのです。

さて、もうすぐ夏休みです。学校の時間割から解放され、皆と違う自分だけの時間割を作る絶好のチャンスです。夏休みはそのためにあるのであって、毎日、お休みするためではありませんが、その時間の活かし方によっては、二学期以降の個人差につながることは明らかです。

そして、こんな心の準備をさせて欲しいと思います。

「みんなと同じことをしているだけなら、みんなよりいいことは見つからない。同じ方法を続けるだけなら、もっといい方法は生まれない。そう思ったら、新しいことを始めたらいい。素晴らしい夏休みと新しい自分を見つけるために。」

せっかくの夏休みです。日頃の学校生活では、身につけることのできない事柄への扉を開いて欲しいと切望します。失敗を恐れず、色々な事に挑戦したり、体験したり、新しい発見にどれだけ出会えたかを大切にする日々でありたいですね。

結びに、家族の歴史を創造する「夏休み」であるよう保護者のご支援をお願いします。